

### III

## バリアフリーリフォームの相談の進め方

### 1) 相談から完成まで

困った



- ・生活関連動作がしにくくなつた
- ・転倒など住宅内事故を避けたい
- ・介護保険などの支援制度がわからなない
- ・相談窓口がわからない

1

相 談

話の内容はできるだけ細かく記録しましょう

■相談内容

①無料相談

- ・改修事例の紹介
- ・介護保険など支援制度の紹介
- ・一般的な留意点の説明
- ・複数の改修事業者へ見積依頼

②改修の提案（費用が必要）

- ・現地調査、面接聞き取り
- ・回収計画案の作成の説明
- ・概算費用の算出

2

介護保険窓口



依頼・調査

医療・福祉の専門家とも話し合いましょう

■改修内容を考える

- ・どういう生活を希望するのか
- ・家族や関係者の意見は聞いたか
- ・参考となる事例はないか

■住まい手の要望・身体状況等のチェックシートへの記入

→「バリアフリー住宅ガイドブック P.29参照」

■資金計画を立てる→「本書P.22参照」

- ・負担できる自己資金はいくらか
- ・介護保険が適用できるか
- ・介護保険以外の支援制度は使えるか
- ・支援資金が支給されるのはいつか

3

県や市町村の窓口相談

- ・リフォームに関する相談
- ・介護保険や各種適用制度の相談
- ・介護保険や各種支援制度を利用する場合の申請手続き  
→「本書P.22参照」

提 案

▼ 専門用語ではなく、一般の人にも理解できる言葉で説明しましょう

・本人の希望を反映した計画を立てる

- ・医療・福祉の専門家等に相談する
- ・構造、設備、仕上げなどの現状を調べる
- ・費用のうち、支援制度の対象を抜き出す
- ・プランを複数用意し、特徴、長所、短所を説明する
- ・支援制度の申請に必要な書類(理由書等)を準備する
- ・工事範囲、内容の詳細、金額、追加工事の可能性等を事前に明確に伝える

4

工事完了



- ・補助や融資の支給決定
- ・工事完了後も、定期的に訪問する介護や医療福祉関係者などと連携をとり、住み心地や使い勝手に不便がないかどうか確認する必要がある。

7

改 造

▼ 複数事業者から見積りを徴集し契約書を交わした後着工しましょう

■現場監理

- ・設計意図が確実に伝わっているか
- ・仕様や内容に誤りはないか
- ・工事写真や施工図が記録されているか

■工事中の打合せ

- ・介護や医療福祉関係者の意見を確認
- ・工事日程の確認
- ・追加工事のある場合は、費用や範囲負担者を確認する

5

使い勝手確認

▼ 何度もシミュレーションを行いましょう

・使いこなし、使い勝手を確かめる

- ・使用方法の説明やアドバイスを行う
- ・不具合が生じれば手直し(追加工事)する
- ・完了届、支援補助に関する書類の提出

6